



# Nihongo Network News

2001.5.11発行

No. 31

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1メールボックスNo.4

東京ボランティア・市民活動センター 気付 ☎03-3235-1171

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークの第8回総会が4月14日（土）に飯田橋の東京ボランティア・市民活動センター（セントラルプラザ10階）会議室で開催されました。

この一年間の活動を締めくくり、平成13年度の活動を位置付ける総会には、TNVNの活動に関心のある会員多数が出席し、活発な質疑応答と積極的な提案がなされ、事務局案通り承認されました。

まず、中田紀子代表に代わって大原徹夫副代表から開会の挨拶があり、議長に梶村勝利副代表、議事録署名人に上野悦子が選出され、総会の議事が進行されました。まず、2000年度の活動報告として甲斐武子事務局長から「ニュースレター」の発行、事務局活動、運営委員会、入門講習会、東京市民フェスタ参加及び昨年の一大事業「ボランティア日本語教室ガイド2000東京」の発行・配布等の説明があり、また会計報告としては山縣みつるの会計から説明が行われました。

続いて、藤田義雄監査役から監査報告がなされた後、TNVN新役員の選出に入り、次の方々が新年度の役員に決定しました。

- 代表 大原 徹夫(新任)  
まちだ地域国際交流協会/町田市
- 副代表 梶村 勝利(再選)  
早稲田奉仕園日本語ボランティアの会/新宿区
- 副代表 林川 玲子(復任)  
ビバ日本語教室/港区
- 会計 山縣 みつる(再任)  
青山日本語クラブ/港区
- 事務局長 甲斐 武子(再任)  
ともだち/足立区
- 監査 藤田 義雄(再任)  
OCNet/大田区

最後に、2001年度の活動計画・予算案が提出され、「ニュースレター」の発行、事務局活動、運営委員会、入門講習会、日本語学習支援研究会、生活支援研究会、さらに日本語ボランティア教室教材作成プロジェクト

ト、各種講習会（出前講習会・ボランティアフォローアップ講習会）の開催等が決められ、本年度の事務局スタッフの紹介があって閉会となりました。

今回は、総会に引き続いて、東京大学留学生センター栖原暁教授から「留学生との出会い」と題して講演があり、興味深いお話が聞けました。

その後の懇親会では新しい参加者を含め多数の方々がボランティア活動の近況や意見などが話され、幅広い交流が行われました。



## TNVN 第8回総会が

# 開催!



# データに見る ボランティア日本語教室 PART 3

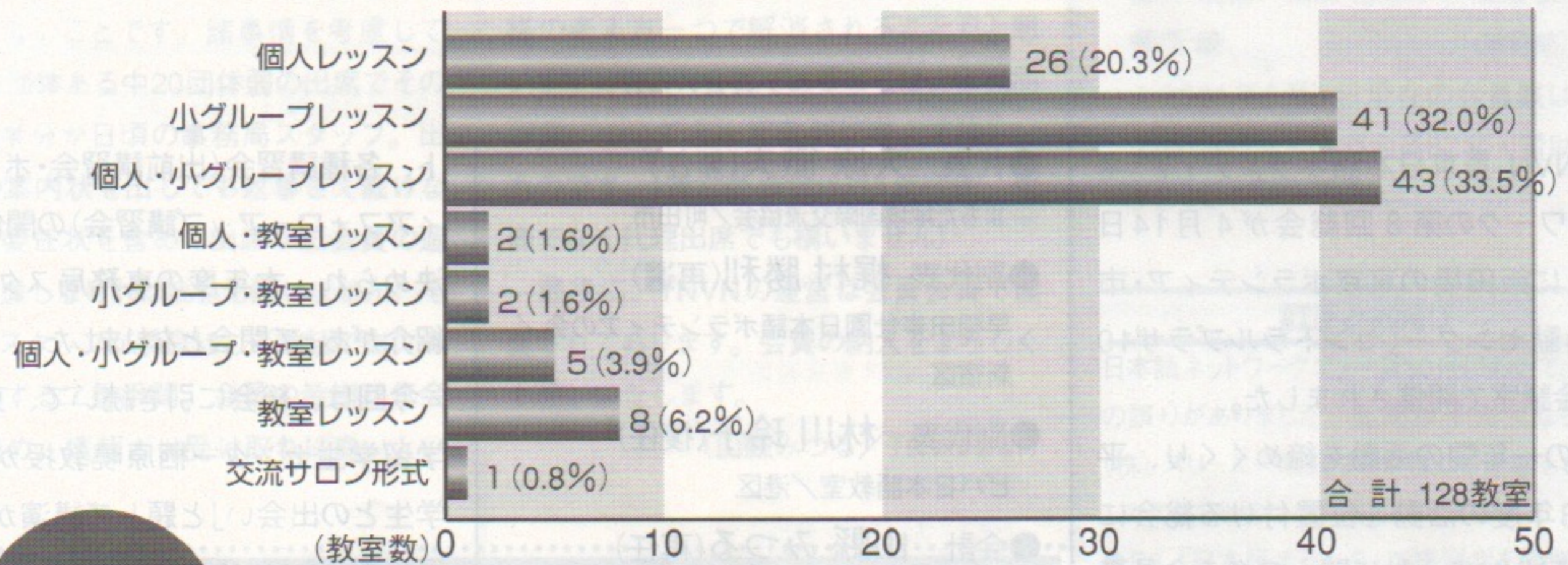
## 「ボランティア日本語教室ガイド 東京 2000」 アンケートから

### アンケートの集計状況

◆回答数/団体数：137 教室数：157

昨年7月にTNVNが発行した「ボランティア日本語教室ガイド 東京 2000」(以下「ガイド2000」)では、TNVN会員団体だけでなく、都内全域のボランティア日本語教室に対してアンケート調査を実施。東京都23区と国立市・国分寺市・福生市・三鷹市・武蔵野市・武蔵村山市の6市を除く20市(当時)のボランティア日本語教室、137団体157教室から回答を得ることができました。

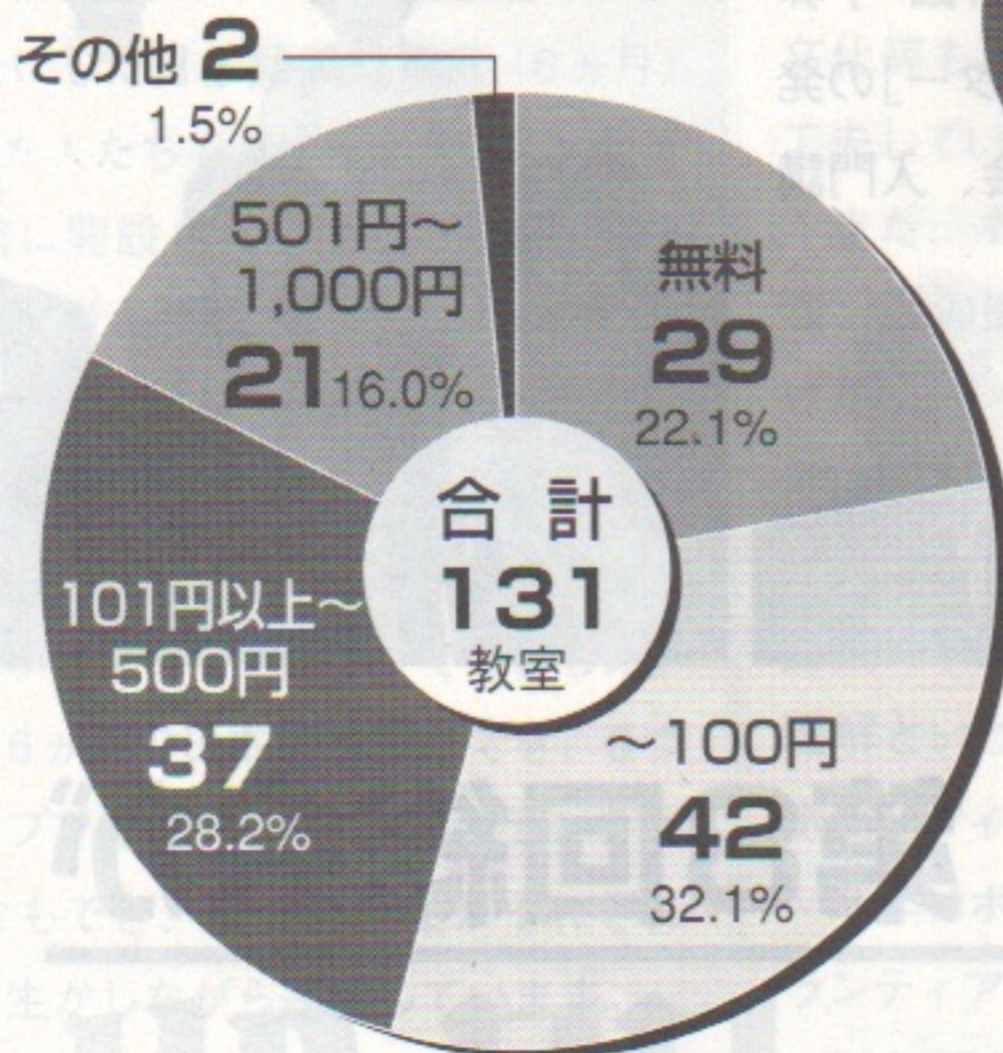
各日本語教室の活動情報は「ガイド2000」に掲載されていますが、地域別のデータの集計結果を報告します。



### クラスでの 学習形態

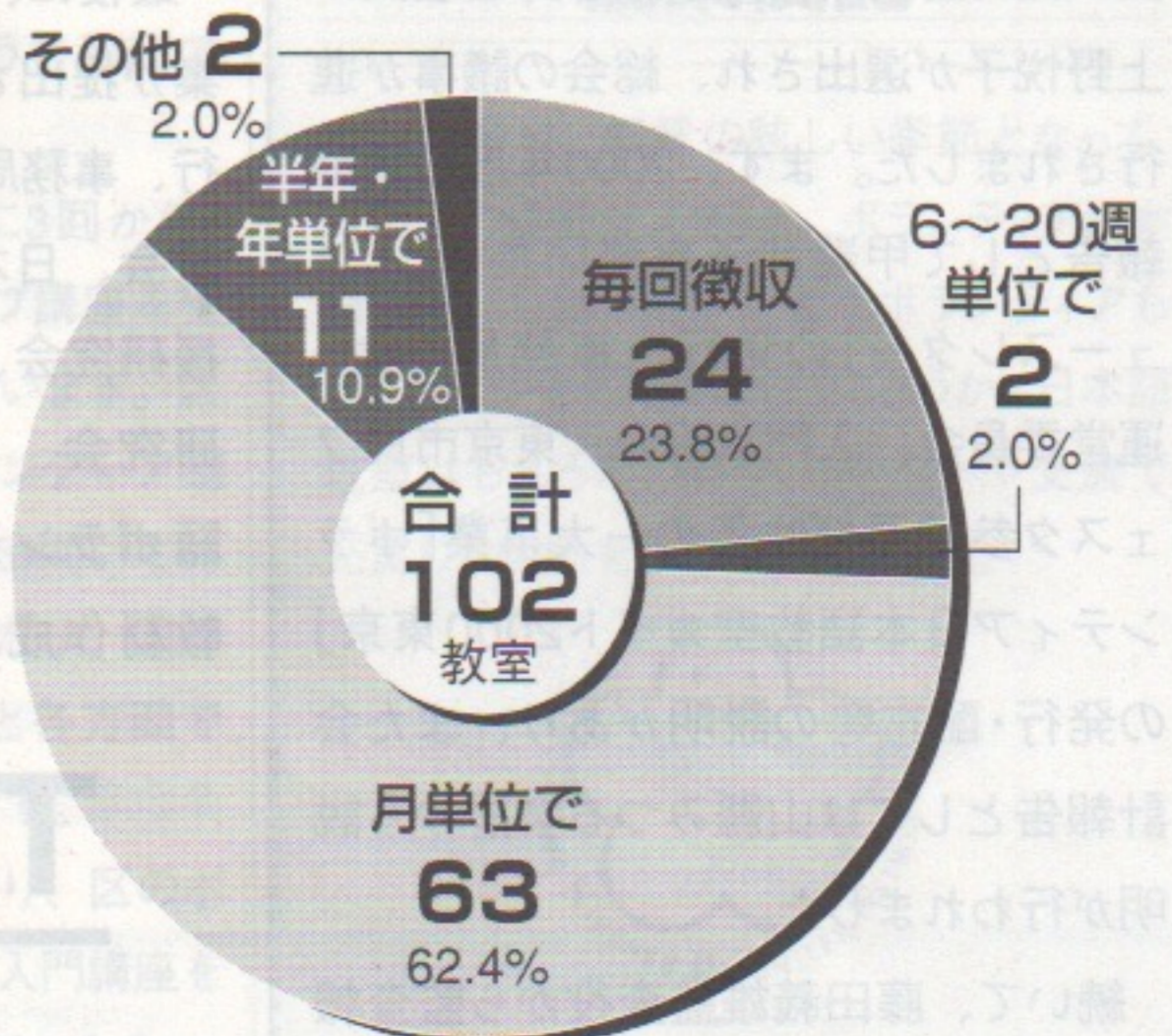
\*「個人レッスン」と「小グループレッスン」、「個人レッスンと小グループレッスンの併用」の合計が全体の85.8%に達し、千差万別の学習者のニーズにきめ細かく対応するために可能な限り小人数の学習形態をとっていることがわかります。

### 1回あたりの会費



### 学習者の 会費

### 会費徴収の期間



※注：週・月・年単位で徴収している場合は、1回あたりに換算(月4週・年48週)

\*学習者の会費は、無料から一回100円程度のクラスが多く、無料から月額500円以下のクラスを合計すると全体の82.4%にもものぼります。このことから、学習者の経済的負担をなるべく少なくという配慮がうかがえます。





ボランティア日本語教室での学習は、日本語学校と違って学習者のニーズもさまざま。そのため既存のテキストや教授法通りにはいかないことも多く、学習者に合わせた工夫も必要です。

ここでは、日本語学習者を支援するときに、役立った教材、理解を早めたアイデア、上達を助けるコツなど、ボランティアの経験から生まれた工夫やアイデアをご提案します。

ボランティアからの提案

## 会話能力を高めるためのいくつかのアイデア

石橋 恭枝 / 協力会員 (熊本市在住)

熊本へ転居するまで、TNVN会員団体の多摩市国際交流センター日本語セミナーで5年間、日本語ボランティアをしていました。その後、こちらへ来てからは、日本の企業に派遣されてきた中国の青年たち(現在は2名)と日本語を学習しています。彼らは半年ほど中国で日本語を学習し、読み書きはできますが会話能力は個人差があります。そういう彼らとの学習で、私が工夫したいいくつかを紹介したいと思います。

### 挨拶は知り合うきっかけ?

来日早々の学習者が周りの人に日本語で話しかける勇気はないようです。そこで、まず会社の門を入ったら、出会った人全員に「おはようございます」、帰るときは「お先に失礼します」と挨拶をすることを勧めています。同じ会社の方々に自分を知ってもらえる良い機会にもなると思います。

次に、「お天気や気候の挨拶」を付け加えることを勧めます。「おはようございます。今日は良いお天気ですね」等、言えるようになると、相手から何か話しかけてくれるようになるかも知れません。

来日三ヶ月の学習者がどの程度挨拶できたかは不明ですが、多少は周りの人に話しかける勇気がでたようです。(私も熊本に移転して来た時、同様の方法で友だちを得ることができました)

### ピッチカーブを身体で表現

おなじ「はし」でも、はしは「橋」、はしは「箸」です。こういう言葉の発音も大切ですが、日本語として自然なイントネーションで言えるように文のピッチカーブを利用して練習します。

ありがとうございます。



今日は、良いお天気ですね。



と、黒板に書き、線をなぞったり、身振りを加えながら練習をします。

この方法で、学習者の不自然な語尾上がりの言い方がなくなり、言葉にも落ち着きが増してきたように思えます。

### 自分のことを自分の日本語で

学習者には、日本語学習に関わる質問とは別に、日頃の出来事やうれしかったこと等、何でも良いから感じたことを話してもらっています。私に伝えたいことがあると、一生懸命に話をしてくれますが、話題がないと寂しそうですので、ちょっとした話のきっかけを私から提供したりもします。学習者が話してくれる内容で、どんなことに興味を持っているかを知ることでもでき、学習の参考になります。

### トレーニングは早口言葉?

学習者の簡単な日常生活文を15前後書きだしておきます。

例えば、「7時に起きます」

これを、「7時に起きます」

「7時に起きません」

「7時に起きました」

「7時に起きませんでした」

のように置き換えて、全文がスムーズに言えるように練習します。

できるようになったら、「～するつもりです」、「～したいです」、その他、可能・伝聞・尊敬等の文にしたり、主語や形容詞などを付け加えたり、「疑問詞～?」の質問、答えの文に置き換えたりすることにより、学習者の会話力を伸ばす練習になると思います。

この他、急な休み、その他の連絡等はE-MAILで連絡を取りあっています。

学習者の仕事を大切に考え、楽しく学習ができるよう努力をし、工夫を重ねていきたいと思っています。

以上、なにか参考になれば幸いです。





## 「相互理解のために」

### LET'S 国際ボランティア交流会

米村 朋子 / 川崎市

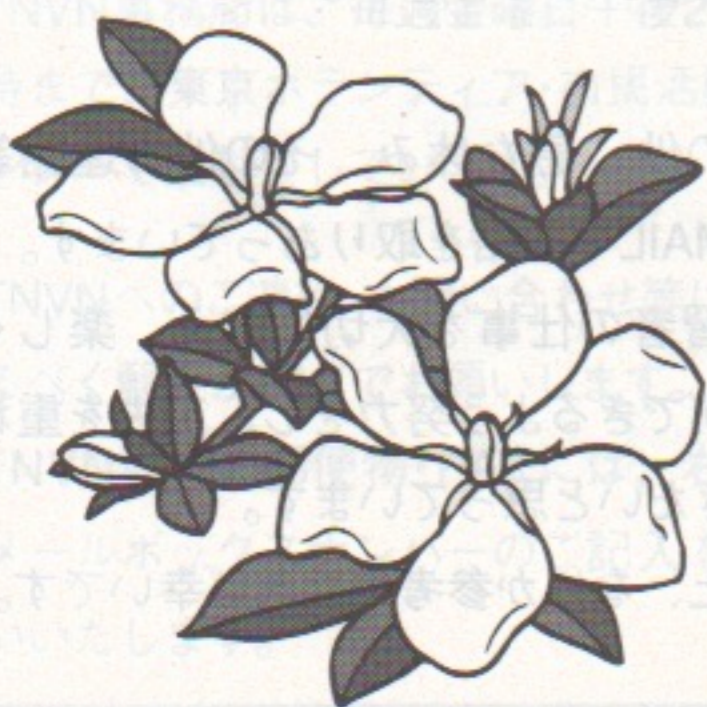
LET'S 国際ボランティア交流会は、川崎市立宮前平中学校の帰国生徒保護者会役員OB有志が集まり平成2年に設立されました。もう今年で11年になります。

会のスタッフは、海外駐在中それぞれの国に於いて、地域や学校でのさまざまなボランティア活動の経験者です。現在会員は50名、海外駐在経験者や国際交流や外国人支援に関心のある人々が集まっています。

『日本語サロン』はLET'S 国際ボランティア交流会のいろいろな活動の一環として開催していますので、単に日本語を教える場ではないという意味を込めて「日本語教室」ではなく『日本語サロン』と称しています。そのため『日本語サロン』では外国人と日本人がお互いを尊重し、対等の立場でおつきあいする事をモットーとしています。

現在は、溝の口カトリック教会で月曜日の午前と午後、福祉パル宮前では火曜日の夜に開いています。

日本語を教えることは、日本で外国人が生活しやすくするための一つの手段ですので、教えること以上に、コミュニケーションや生活情報提供を大切にしています。



LET'S 国際ボランティア交流会では、日本語サロンを通じ、信頼関係を築き、良き友を得ること、日常生活の中での国際交流に発展していくことをめざしています。

## 「引っ越し顛末記」

### 日本語ボランティア「あいあい」

安藤 久美子 / 足立区

『綾瀬生涯学習センターが、放送大学の移転に伴い取り壊される』そんな話を耳にしたのは、昨年夏のはじめだったでしょうか。まさに、私達にとって寝耳に水の話でした。

驚いて連絡をとった女性センターでは、『とりあえず年内は学習を続けても大丈夫。年が明けてからのことは自分たちにも分からないが、まだ時間もあるので学習の場については何とかします』とのことでした。

大丈夫と言われても、利用する私達にとって不便なところでは困ります。日時を変更せず、現在の場所から近い所ということで探していただくよう依頼しました。この日時と場所の二つの条件が足かせになったのか、女性センターの担当者からは朗報がなかなか届きません。

十月になると、書類を入れた段ボール箱がいくつも積みまれ、大学の移転作業はいよいよ本格的になってきました。備品も行くたびに少なくなり、人影もまばらになっていくのは本当に寂しいものでした。私達も不安でしたが、学習者もさぞ心配だったことでしょう。

タイムリミットと思っていた十二月になって、やっと落ち着き先が決まり、クリスマス会で報告できた時は本当にホッとしました。一月末に全員で荷物を運び、二月から、西綾瀬ボランティアセンターで新スタートを切りました。

教室がなくなるという大変な試練も、そのお陰で、仲間の結束が強まったように思います。そして、学習者のほぼ全員が、移転後も学習を続けていることが何よりの喜びです。



国境を越えて心を一つに

崔唯美 (チェユミ) / 韓国 (まちだ地域国際交流協会 (MIFA) / 町田市)

私が日本語の勉強のためにお世話になっている所はMIFAという町田市にあるvolunteer団体です。

ここではいつも美しく丁寧な日本語を耳にすることが多いし、きれいだがつめたくてかたい感じの現代的な建物の中とは思えないほど、常におだやかで和気あいあいな雰囲気を満喫することができる最高の場所でもあります。

学習者はもちろんさまざまな国籍を持った人々で、勉強の内容も、顔も、発音も、そして考え方も多様なので、国際的な雰囲気を実感させる所でもあります。その人々は私と同じく表面的には言葉を習っているものの、他方、支援者の皆さんから日本という国の空気に馴染む練習をしてもらっているのかも知れません。

私の場合、日本に来て最初に困った事は目上の方を〇〇さんと名前と呼ぶ事でした。

たとえば韓国では70、80代の方に対しておばあさん(さま)と呼ぶけれど、日本では〇〇さんと、まるで会社の仲間を呼ぶような感じがしました。お年を召した方に対して私の口から自然に〇〇さんと呼べるようになるまでにはすこし時間がかかりました。これはやはり教室に来ての勉強のみでなく、肌で感じてきた事がある日自然に出てきたからだと思

います。

このように日本の社会を肌で感じ、適応していきながらも頭の中は言葉の事でいっぱいになります。以前韓国人の友達から聞いた話が思い出されます。駅員に「じこくひょうをください」といったはずなのに相手には「じこくひょうをください」と聞こえたらしく、びっくりしたそうです。こういうふうに濁音の発音が難しいです。これ以外にも長音の区別とか「つ」、「ざじずぜぞ」の発音が苦手です。最近「しんじょう」(心情)と「しんぞう」(心臓)の発音練習で大笑いです。これらは私だけでなく、韓国人共通の不得手な発音でもあります。今日も私の大好きな先生とこんな話をしながら話の花を咲かせています。

はじめて日本に来たとき、韓国とあまりにも似ていることが多いのに驚きました。時間が経ったいま、改めて驚いています。あまりにも両国が似ていないことに…。

それでも日本と韓国が似ている、似ていないにかかわらず、私のまわりにいる日本人と韓国人の心は一つであり、優しさと美しさに満ち溢れています。MIFAで勉強している色々な国からの方々の心が一つとなり、同じ感性で国際的な交わりが高められるよう願っています。

「集まり散じて…」

宮副隆好 / 早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 (新宿区)

べ見違える程上達され、喜んで帰国される顔に接する時、「よかったなー」との満足感を覚えます。帰国後も、手紙やメール、こちらからの訪問などと交流を見聞きする時、いささかなりとも国際交流にお役に立っているのかなという気持ちになります。

一方、すぐ中止された方たちのことは、とても胸が痛み、こちらの対応や指導が悪かったのではないだろうか、と考えさせられます。何れにしても、この時間は、自分たちの勉強の場でもあり、外国の方々と緊張感を持って過ごせる楽しいひとときでもあります。この場所を中心にして、集まり、散じて…そして、留学生がいる限り、長く続けてゆきたいものです。

私たちの会(日本語サークル)は、早稲田大学に留学のために来日された学生、交換教授、その家族の方たちを対象に1998年9月にスタートしました。学習者の日本語レベルや研究テーマの違いで、本人の希望に合わせ、マンツーマン指導を基本としています。幸い、ボランティアも常時15人となり、学習者も延べ人数で200人を超えました。

そのなかに、早稲田大学に関係のある方が多数おられます。毎週来られた方、1~2回で中止をされた方…、状況はさまざまのようです。

1年の留学期間が多い学習者にとって、毎週水曜日「週1回・2時間」は、授業との関係でとても難しいようです。この壁を乗り越え、私たちのサークルで学習され、最初の頃と比



## JAFSA (国際教育交流協議会)

—Japan Network for International Education—

●所在地・連絡先 (5月17日以降)

〒135-8603 東京都江東区青海2-79 (財)日本国際教育協会内 JAFSA事務局

TEL : 03-3570-2158 FAX : 03-3570-2159

E-mail : jafsa@aiej.or.jp ホームページURL : <http://www.jafsa.org>

### 行動力とネットワークで 留学生をサポート



当ネットワーク第8回総会でご講演いただいた東京大学教授 堀原暁氏のお話にもありましたように、1983年、中曾根首相(当時)が留学生十万人計画を

宣言。今だ十万人には届いていないものの、留学生は確実に増加しています。1983年当時、専修学校から大学院まで含めた留学生の数は10,428人でしたが、昨年度は64,011人にもなりました。

ボランティア日本語教室にもかなりの数の留学生が訪れているものと思われますが、これら留学生(教育の国際交流)に関わる活動をしている団体、JAFSAとは何か、何をしているのか、駒場にある日本国際教育協会の中にある事務局をお訪ねし、ほとんど席にいないという多忙な事務局長の堀江学氏に貴重なお時間をいただき、お話を伺いました。堀江氏は、(財)日本国際教育協会の留学情報センター所長でもあり、JAFSAの事務局長はボランティアでなされている由です。

#### 【JAFSAとは】

JAFSAとは、Japan Network for International Education = 国際教育交流協議会という非営利・非政府の団体で、主に日本の大学や日本語教育施設等の国際教育交流分野で活躍する教員・職員、国際教育交流団体の役職員、民間の国際交流ボランティア等によって組織される調査・研究・研修・情報交換等のためのネットワークです。1968年の創立以来、教育の国際交流に携わる人々の専門知識と技能の向上をはかることを念頭に、文部省や

(財)日本国際教育協会等の関係省庁・団体との連携をはかりながら、多様な活動を続けているそうです。

◆団体会員/約140団体、個人会員 約378名

◆ニュースレター

『JAFSA (国際教育交流協議会) 会報』発行

また、(財)日本国際教育協会(AIEJ)は、文部省の外郭団体として1957年に創立。外国人留学生に対する福祉・援助事業の中核的な実施機関として、また、留学情報の提供・留学相談、短期留学の推進、フォローアップ事業、国際交流支援など幅広い活動を行っています。日本語能力試験、日本語教育能力検定試験の実施機関でもあります。

#### 【活動の背景とJAFSAの使命】

JAFSAが今日、社会でより重要な役割を担いつつあるのは、国境を越えた教育交流が普通のこととなり、これからの世界を担う若者たちの国際教育を円滑に行うことが国際社会でますます求められているという背景があるからです。日本は歴史的に国際教育交流の歴史が浅く、海外からの留学生の受入数も他の先進諸国に比べて少ないことが指摘されています。ところが、日本には国公私立大学、日本語教育施設、国際交流団体、ボランティアグループ、地域住民等を横断的に、また、総合的に全国組織するネットワークはJAFSAにおいて他に存在しません。

このような状況を踏まえ、JAFSAは日本国内にある教育機関の国際化推進の先導役としてより充実した教育交流の体制確立のための支援を目指し、国際教育交流に携わる人々に最新の情報、ノウハウ、技能等を提供することをその使命と考えているそうです。



## 柔軟なネットワークの魅力

JAFSAは、上下関係のない横のネットワークをもちます。それゆえ、個別の組織でしか仕事をしたことのない人がJAFSAの活動に参加すると、初めはちょっと戸惑うかもしれません。国立大学の教授と私立大学の新人職員が対等に激論を交わしたり、国際交流団体の役員と民間のボランティアが仕事上の協力を和気あいあいと話し合ったりするのを目にするからです。

このようにJAFSAには国際教育交流という共通の分野で仕事をしている者同士の連帯感が醸し出すオープンな雰囲気常在りあります。実際、JAFSAには豊かな国際経験のある会員が多く、その経験を所属組織での仕事に生かすだけでなく、仲間である会員と共に分かち合おうといった個性豊かで寛容な心もちの人たちが活動を盛り立てています。日ごろの活動を通じて培った会員間の相互信頼のもと、JAFSAの柔軟なネットワークで情報を分かち合い、海外からの照会を回したり、分からないこと、困っていることを相談できる人がすぐ見つかることは、JAFSAの大きな魅力のひとつになっているとのことです。

## JAFSAネットワークの躍進

—アジア通貨危機の際、

留学生の窮状をマスコミにアピール—

JAFSAのネットワークの力はこの数年の間に素晴らしく伸びています。これは、インターネットやEメール活用の成果もさることながら、上述のとおり既成組織には見られない柔軟で枠にとらわれない思考法をそなえた会員が多いからでしょう。例

えば、アジア通貨危機等の不測の事態に対応したJAFSA会員有志の調査とアピールが日本のマスコミを動かしたという実績は、決まったことを実行するばかりでなく、状況に応じて臨機応変に小回りをきかせられるJAFSAの柔軟な会員の行動力とネットワークの力によります。そして、こうしたネットワークの威力は、海外の国際教育交流団体との交流活動でも大いに発揮され、米国・EU・中国・韓国・タイ等、海外の同種の国際教育交流団体との交流も年々ますます盛んになってきているそうです。

## 現在、およびこれからの取り組み

JAFSAは、30年以上の歴史を持つ団体ですが、その時代時代の要請を敏感にとらえて、素早く対応してきました。目下、JAFSAが取り組んでいることは、大学等の国際教育交流部署の初任者研修などですが、最近、ユネスコの支援によるプログラムでドイツ・韓国の留学生担当者を日本へ招聘、研修会を実施しました。ほかに、年1回の夏期研究集会、地域に根ざした月例研究会などいろいろ開催しています。

これからは、日本語学校との連携を深めること、関係省庁・団体に提言を行っていくこと等、積極的に進めていきたいと考えているとのことです。

## 会員になるには

「地域のボランティアとして留学生にどう関わればいいのか」と考えている方は、会員になれるそうです。JAFSA事務局にお申し込みください。

- ◆正会員            団体会員    (年会費) 10万円
- 個人会員    (年会費) 8千円
- ◆賛助会員        (年会費) 5万円



# 差別用語について

「正しい日本語」とは何か

日本大学助教授

福田 知行

昨年ベストセラーになった『五体不満足』という本があります。それを読んで「障害者」に対する考え方が変わった方も多いのではないかと思います。私は特に「差別用語」についていろいろ考えさせられました。

日本語を教えていると、障害者を指し示すいわゆる「差別用語」に出会ってどうしようかと思うことがあります。たとえば、「目の不自由な人」や「目の見えない人」を意味する「盲」という漢字には「めくら」という訓読みがありません。しかし、「盲判(めくらばん)」とか「盲滅法(めくらめっぽう)」などは実際の日本語としてまだ使われています。差別用語なども本質的には「言葉の正しさ」と同じ性質を持っているのかもしれませんが、なぜその表現が差別用語なのか納得できない表現がたくさんあるからです。ときどきテレビ番組の最後に「ただ今の番組のなかで不適切な表現がありましたこととお詫び申し上げます」とアナウンサーが言うことがあります。いったい何が不適切な表現だったのかわからないことがあります。そういう場合の「不適切な表現」というのはほとんどがこの差別用語で、テレビを見ている私たちはそうした表現を「差別用語」だとは思わずに見ているのに、テレビ局の基準によって差別用語と定められている表現が使われたため、「お詫び」をするということだろうと思われませんが、ではいったい誰がそれを差別用語と決めたのでしょうか。そして、差別用語と決める判断基準はいったい何なのでしょう。

差別用語の一つの判断基準は、その言葉の表す身体的特徴を持った人がそれを聞いたと

きに感情を害するかどうかとする考え方があります。たとえば、「ブス」「デブ」「ハゲ」という言葉があります。これはいわゆる身体障害者に対する「差別用語」ではありませんが、私自身は(実は「ハゲ」なので)留学生に教えたくない言葉なのに、留学生がどこかで耳にして聞いてくるのです。ですから、これらの言葉も上の定義に従えば、立派な(?)差別用語だろうと思います。

そのほかにも「若い」の反対は何ということかと、聞かれることがあります。学習者はoldにあたる日本語を知りたいのだということはわかるのですが、日本語にはoldにあたる適切な言葉がないのです。「年を取っている」とか「年寄り」とか「老人」とかいう言葉はありますが、どれも他人に関して使うのは問題ないのですが、自分に言われたり、自分で言ったときに非常に「とまどい」を感じる言葉なのです。たとえば、私自身若くないので、「あなたは年を取っています」とか「あなたは年寄りです」と言われたり、「私は年を取っています」とか「私は年寄りです」と言ったりするとかなり「感情」を害します。「年配」とか「熟年」という言葉もありますが、やはり年齢を客観的に述べる表現ではありません。結局、年齢に関しては(少なくとも現代の日本では)それに言及することがある程度「タブー」になっていると考えざるを得なく、学習者には「年齢の高い日本人には年齢のことを話題にしないほうがいい(特に女性には)」というようなことを言っていますが、私自身それでいいのかどうかはいまだにわかりません。



## TNVN日本語ボランティア講習会

盛況のうちに  
終了!

3月16・23・30日の三日間にわたって、飯田橋の東京ボランティア・市民活動センターを会場にTNVN日本語ボランティア講習会が開催されました。今回は、長年にわたって日本語教育に携わっていらっしゃる有馬俊子先生を講師にお迎えし、初・中級クラスの学習者への教え方を中心とした講座が開かれました。

先生のユーモアを交えた講義に教室一杯の受講者は教授法について多くの事を学び、また再認識して3回の講座が終了しました。出席者(各回平均約40名)のアンケートの結果は、講習会全体の感想としては [①大変よかった ②よかった ③あまり良くなかった ④工夫が必要] のうち①と②の「よかった」が

91%。「先生が丁寧に説明して下さり、今後の参考になった」「先生の話術が素晴らしく、楽しかった」「教案の大切さ、導入の工夫など再認識させられました」「具体的で且つ雰囲気明るくて、時間が短く感じられる程でした」「教えるときの心遣い、教え方などがよくわかった」などの多くのご意見・ご感想が寄せられました。TNVNとしてはこれらのご意見を今後の活動の参考とし、平成13年度も会員の皆様の要望を聞きながら講習会を開催していく計画です。



# 日本の常識

## ◎第14回

# 衣替え

数年前までは黒っぽい制服を着た子どもたちが、6月1日になると衣替えでいっせいに白い夏服姿になって、夏が来たという実感をもったものです。今では私服の学校が多くなったこともあり、衣替えの習慣もうすれつつあるようですが、学校や会社など制服のあるところでは、6月を境に衣替えをします。

衣替えは、「衣更」または「衣替え」と書き、季節に応じて衣服や調度を替えることを言います。衣替えの期日は、時代によって異なりましたが、現在は6月1日と10月1日を目安として行われています。

日本では四季の変化に富むため、古くから「衣替え」が年中行事の一つになっていまし

た。日本では高温多湿な風土であることから、6月から9月は風通しがよく着ごちがよいように夏向きに木綿や麻のひとえ仕立ての着物を着用。さらに、盛夏の7月には「紹」、8月には「紗」という風通しがいいように織られた布の着物を用いました。

10月から5月は裏のついた袷仕立てを、寒い1月、2月には綿入れの重ね着で保温をするのが、和服を着ていた時代の習わしでした。

近年では、和服を着用することも少なくなり、洋服の影響やエアコンの完備などの条件や、毛織物のひとえが着用されるようになったこともあって、装いから季節を感じることも少なくなりつつあるのは



残念なことです。しかし、季節の変わり目に夏冬の衣服を入れ替えたり、過ぎた季節の衣類のクリーニングやお手入れをする機会として、私たちの暮らしのなかに衣替えの習慣が残っているようです。



# NETWORK INFORMATION

## 日本語ボランティア入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。これまでに日本語ボランティアの経験がないという方は、活動のオリエンテーションとしてぜひ受講してください。どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

### ◆日時

5月11日(金) 午後2～4時  
5月25日(金) 午後6～8時  
6月8日(金) 午後2～4時  
6月22日(金) 午後6～8時  
7月13日(金) 午後2～4時  
7月27日(金) 午後6～8時

### ◆テーマ

(5月)学習者はどのような人たちか？  
(6月)日本語学習をどのように支援するか？  
(7月)日本語ボランティアとは？

### ◆会場

東京ボランティア・市民活動センター 会議室  
飯田橋 セントラルプラザ 10階  
(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)  
※都合によりフロアが変更になる場合には、掲示板等でご案内します。

### ◆参加費／1回 600円(TNVN会員は300円)

### ◆参加申込み

直接、会場へおこしてください。

## TNVN宛て郵便物にはメール ボックスナンバーのご記入を！

TNVN事務局は、毎週金曜日午後2～7時まで、東京ボランティア・市民活動センターで活動をしています。

TNVNへのご連絡・お問い合わせ等は、なるべく郵便かFAXでお願いします。なお、TNVN宛ての郵便物・FAXには、右記のメールボックスナンバーのご記入をお願いいたします。

## TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス！

インターネットのTNVN活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、TNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

### <TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆URL : <http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAIL ID : [tnvn@t3.rim.or.jp](mailto:tnvn@t3.rim.or.jp)

※なお、上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

## TNVNへの入会を 希望する方は…

TNVNの会員として入会を希望される方は、まずTNVN事務局までTNVN活動・入会案内を請求してください。(活動・入会案内のみを希望する場合は送料として80円切手、ニュースレターと活動・入会案内の場合は90円切手を同封の上、郵便にてお申し込みください)

TNVNの会員は、日本語ボランティア活動をしている団体が正会員、日本語ボランティア活動に関心のある個人が協力会員となります。入会される場合は、申し込み用紙に必要事項を記入してTNVN事務局まで郵送またはFAXし、あわせて会費をお振り込みください。

会員の方には毎回TNVNニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ会員価格で参加できます。

◆会費／正会員 年会費 3,000円

協力会員 年会費 2,000円

### ◆会費払込み先

郵便振替口座番号 00100-1-719259

(通信欄に「年会費」と記入)

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1  
東京ボランティア・市民活動センター 気付  
メールボックス No. 4  
TNVN 東京日本語  
ボランティア・ネットワーク  
TEL : 03-3235-1171  
(呼出し/金曜日午後のみ)  
FAX : 03-3235-0050

## 日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時/毎週金曜日 午後2～7時

### ◆会場

東京ボランティア・市民活動センター

◆電話でご確認の上、おこしてください。

TEL : 03-3235-1171 (呼出し)

## 連絡先の変更等は、郵便かFAXで

新年度を迎え、団体の代表や連絡先(TNVNからの郵便物の宛先)が変更になった団体も多いことと思います。正会員(団体)や協力会員(個人)の方で住所変更のあった場合、また団体の代表の連絡先などが変更になった場合は、TNVN事務局まで郵便やFAXでお知らせください。また、TNVNを退会される場合も書面にて通知していただくようお願いいたします。

## 年会費の納入にご協力を！

4月を迎え、TNVNの活動も新たな年度がスタートしました。会員の皆様には今年度の年会費の納入をお願いいたします。TNVNは日本語ボランティア団体の民間のネットワークとして、自治体等からの援助もなく、会員の会費収入とボランティアスタッフの労力によって活動が支えられています。その事情をご理解の上、すみやかな会費の納入にご協力ください。



## 留学生交流ボランティア プログラム参加者募集

東京大学留学生センターでは、日本人と留学生の交流・支援の促進を目的として、1対1の組み合わせによる「留学生交流ボランティアプログラム」を実施しています。この活動に関心のある方は下記まで連絡下さい。

### ◆活動内容

留学生のニーズに合わせ、日本語を使って交流します。

※回数や期間は、留学生と相談の上、決めていただきます。

### ◆問い合わせ

東京大学留学生センター留学生相談室  
(平日10:00～18:00)

TEL: 03-5841-2360

FAX: 03-5805-7807

E-mail: adv@ic.u-tokyo.ac.jp

## 福田知行さんが 日本語の本を出版

TNVNニュースレター「日本語ネットワークニュース」に「正しい日本語とは」を連載されている福田知行さん(日本大学助教授/協力会員)が、本を2冊出版されました。『日本語ボランティアと日本語教育』(1600円+税)、および『漢字と日本語教育』(1500円+税)です。

関心のある方は、凡人社またはTNVNまでお尋ねください。



## TNVN事務局スタッフ・ 本欄の掲載記事を募集

毎週金曜日午後にボランティアスタッフとしてTNVN事務局で活動して下さる方、またニュースレター「BULLETIN BOARD(本ページ)」に掲載する記事を募集しています。

### ◆掲載記事

- ①日本語ボランティア活動に関する案内・募集等の記事
  - ②外国人・日本帰国者への日本語学習支援や生活支援に関する記事
  - ③国際交流会やイベントの開催
  - ④その他掲載趣旨に合う記事
- \*表題・内容・日時/期間・場所・連絡先/問い合わせ先・掲載希望団体等を郵送・FAX・Eメール等でお知らせ下さい。

### ◆問い合わせ・申し込み

東京日本語ボランティア・ネットワーク  
(ニュースレター担当)  
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1  
東京ボランティア市民活動センター気付  
メールボックスNO4  
FAX: 03-3235-0050  
E-MAIL: tnv@t3.rim.or.jp

## 行政書士による 外国人行政手続き無料相談会

東京都行政書士会江東支部では、外国籍の方々のための無料相談会を4月から毎月第1月曜日に実施しています。

外国籍の方々が生ずるいろいろな問題—出入国ビザ(結婚・永住・超過滞在)、帰化等の国籍に関する問題等—の相談に親身に応じるということで、相談の秘密は厳守します。

なお、相談は日本語で行いますので、日本語が苦手な方は日本語のわかる方に同行してもらるか代理相談をお願いします。

◆日時/毎月第1月曜日(午後1時～4時)

◆会場/江東区役所2階・区民ホール

## フレンド日本語教室で ボランティアを募集

TNVNの会員団体であるフレンド日本語教室では、学習支援ボランティアを募集しています。関心のある方は、下記までお問い合わせください。

◆活動時間/毎週日曜日 10:00～12:00

### ◆会場

ハッピーロード大山商店街振興組合事務所  
3階会議室(東武東上線 大山駅下車2分)

◆資格/責任を持って、活動を継続していただける方

### ◆申し込み・問い合わせ

大野 京子 TEL/FAX: 03-3959-1996

## 「防災体験」のご案内

日本語学習者の中には、出身国で地震の経験や知識のない方も多いため、教室の課外活動等に体験学習を取り入れてはいたかがでしょうか。東京消防庁では防災の知識や技術・行動力を高めることを目的に、体験型学習施設「防災館」を開設しています。

### ◆会場

◎池袋防災館: 豊島区西池袋2-37-8  
(JR池袋駅西口より徒歩5分)

TEL: 03-3590-6565

◎本所防災館: 墨田区横川4-6-6  
(JR錦糸町駅北口より徒歩10分)

TEL: 03-3621-0119

◎立川防災館: 立川市泉町1156-1  
(JR立川駅北口2番より、防災センター経由または国立病院経由のバスで立川消防署前下車)

TEL: 042-521-1119

◆費用/全館とも無料

### ◆申し込み・問い合わせ

上記の防災館まで。

10名以上での利用はあらかじめ電話連絡をお願いします。

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/mus.htm>

# BULLETIN BOARD



# 事務局 D I A R Y

新芽の若々しい緑の下、TNVNも第8回総会を開催し、新年度がスタートしました。TNVN設立以来7年間に、各自治体でも日本語ボランティアの入門講習会、養成講座などが開催されるようになり、TNVNの役割でもあるネットワーク化も1歩前進しました。

私はTNVN事務局に通うようになって4年目、毎年の総会で感じることは、出席者が少ないことです。諸事情を考慮しても、76団体ある中20団体弱の出席でそのうちの半分が日頃の事務局スタッフ。出欠席の案内状を出しても返事さえ戴けないと、委任状を含めて出席が正会員の過半数に達しなければ総会も開けません。そのためスタッフが手分けして電話で出欠の確認をする二重手間。会員の皆様は年会費を納め、情報だけ受け取れば良いとい

うことではなく、相互理解を深め情報交換をする場として、せっかく会員になったのですから積極的に参加してほしいと思います。大切な会費を預かり、何事も無駄のないように節約しているスタッフの労力・時間も考えていただければ、今後の事務局の運営が危ぶまれます。

事務局のスタッフ・運営委員も積極的に参加する方が少ないことも、会員の皆様の考え方一つで解消されることだと思います。TNVN会員であるならば、事務局運営について今一度真剣に考えてほしいものです。(運営委員会は月1度開催、代表でなく代理出席でも構いません)

最後に、TNVNの運営は会員会費で運営されております。会費の納入をよろしくお願いいたします。

(山縣みつる/TNVN会計)

## 地域の日本語ボランティア事情

### 江戸川区発

江戸川区で初めての日本語教室は、区民を対象にした日本語養成講座(6ヵ月)を修了した人たちでクリーンパレスと西葛西図書館に開設されました。週1回金曜日夜に学習者を募集し、当初は集まりませんでした。口コミやパンフレットの配布次第に人数が増えていきました。そして、毎年の養成講座の修了者も増え、各地域にボランティア教室ができました。

今では6ヵ所の日本語教室ができ、6つのグループで江戸川区日本語ボランティア連絡会もでき、互いの教室がそれぞれの個性を生かしながら運営しています。

連絡会の事業として、今年で2回目となる江戸川女子高校の短期留学生の日本語研修の企画運営や異文化交流会などを行ったり、地域の祭りに参加したりと、日

本語を教えるだけでなく学習者に日本の文化等も楽しんでもらえるよう各教室で工夫しています。

また、ボランティア側も年に3回から4回、区の援助でフォローアップ講座を受けたり、レベルアップに努めています。区では日本語指導員というボランティア制度もあり、小学校や中学校に出向いて外国人の子どもに日本語を教えたり、国際理解という分野で話をしたりと各方面でボランティアの輪を広げています。

今年はボランティア年でもあり、区のボランティアセンターに協力して入門講座を6月に2回行うことも予定されています。

矢加部 百合枝

(江戸川にほんごボランティア連絡会)

## SPECIAL THANKS

★JAFSA(国際教育交流協議会)様  
快く取材に応じていただきました。

## WELCOME! 新入会員のご紹介

### ◆正会員(団体)

日本語で交流・虹の会(東久留米市)  
文京区国際友好交流協会(文京区)

### ◆協力会員(個人)

高木 絹枝、大槻 英子、森 信子、  
屋井 俊輔、横山 寿和子、佐藤 豊、  
栖原 暁 (敬称略)

※2001年5月1日現在の会員数は、正会員68団体・協力会員87名・賛助会員8です。

## 訂正とお詫び

日本語ネットワークニュース30号において、下記の誤りがありました。有馬俊子先生ならびに(株)スリーエーネットワーク様にご迷惑をおかけしたことをお詫びして、訂正いたします。

◆P8「日本語ボランティア講習会を開催!」の中の有馬先生の著書に関して『新日本語の基礎1・II』『みんなの日本語』を削除し、『日本語の教え方の秘訣全4巻』とする。

◆P12「編集後記」の中の「新日本語の基礎」を『日本語の基礎』にする。

## 編集後記

●桜も散り、新緑の眩しい季節となって、新年度の活動がスタート。ボランティア日本語教室にも新しい学習者やボランティアも加わっているのではないのでしょうか。日本語教室はもちろん、楽しいイベントや交流で充実した活動をしたいと思います。



レイアウト/鶴田 環恵

編集/上野 悦子、大久保 澄子  
甲斐 武子、梶村 勝利、床呂 英一  
林川 玲子、前田 恭子、山縣 みつる